



「縫り合う家」南西の開放的な2層吹き抜け/51平米のLDKには、さらに階段の踊り場を拡張した(和室ライブラリー)や、吹き抜けを介して2階にある(スタディリビング)と(ラウンジ)を接続させ、さらなる広がりを目指した。家族がさまざまな場所/レベルでそれぞれに過ごしなが、お互いに息づかいを感じつつ暮らすことができる空間となっている。キッチンクチーナ神戸によるフルオーダー 写真/福澤昭嘉



「西宮・里山の白い平家」建物は、鉄筋コンクリート打ち放しの壁を覆い隠すように纏った白い壁の形状が印象的でマツシブさと軽快さを併せ持つ外観が、里山の緑の中にくっきりと浮かび上がる。周囲に全く塀を設けることなく、プライバシーを完全に保ちながら明るく、また里山の環境と風景を楽しむことができる 写真/福澤昭嘉



「千里山・丘の上の家」一部の外壁やLDKの壁をオーダーで焼上げたレンガの模様貼りが、デザインの要となっている。レンガは一昔前の古めかしいイメージを持つ人もいるが、本物を上手に使うことで知的で歴史的な深みのある表情となる。LDKから庭への連続性のため、幅6.2m×高さ2.5mがフルオープンになるヘーベシーペを使用。自然と外に出たくなるような繋がりのある空間となっている。写真/福澤昭嘉



中庭とLDK越しに反対側の(切り取られた里山の風景)まで見通すことができるような設計。浴室は中庭とつながり、開放的で明るい空間となっている 写真/福澤昭嘉

セキデザイン
株式会社 *seki.design*

あなたとご家族にとって一番心地よい
住まいのかたちを共に創りあげる

神戸市を拠点にデザイン住宅・別荘・セカンドハウスをはじめ、住宅付複合ビルやクリニック、店舗、集合住宅の新築やリノベーションといった建築の企画から設計・監理まで幅広く請負う(*seki.design*)。同社が住まいの設計において、特に力をいれているのは、クライアントとの対話。その対話の中から設計のヒントを見つけ出し、それを機能と結びつけながらカタチにしていく。他愛のないエピソードでも、そこから得られたヒントが設計に活かされ、素敵な住まいが生まれることもある。そしてもうひとつ、設計・デザインに「優しさ」を込めることにも重きを置く。思いやり、愛情、安らぎ、真夏の木陰に吹き抜ける風のような、あるいは春の陽だまりのような心地良さ。言葉にならない思いをくみ取り、それを実際のカタチにする。なぜなら、その「カタチ」がこれからあなたとご家族の未来を育んでいくのだから。

また、家を建てるようになったとき、「家が欲しいけれど、何からはじめたら良いのか分からない」そんな方も多いのでは。同社では、WEBサイトのコンタクト・フォームより、住まい・建築に関するご相談を無料で承っている。いきなり面識のない建築家と顔を合わせるのにはちよつと……。とお考えの方は、まずこちらからお気軽に「ご相談を。」何を相談したらいのかさえないから」といった漠然とした質問も多いのだという。数回メールでのやり取りをした後に、実際に面談する方が殆どとのことだが、もちろんそれに限らず、納得のゆくまでメールにて相談に乗ってくれる。建築家の仕事とは、お客様と向き合い、思っていることを引き出すところからスタートする。不安や疑問を抱えて相談に来る方も、必ず解決してお帰りいただけるよう最善を尽くす。(*seki.design*)はあなたとご家族が、いちばん心地良いと感じられる「住まいのかたち」を提案する。

お問い合わせ
●078-351-6128
●住所/神戸市中央区中山手通5-2-3-601
●営業時間/9:00~19:00
●定休日/日曜日
●https://sekidesign.com

●設計・監理エリア
・全国
※詳細につきましてはお問い合わせください



建築家 石憲明氏
2005年、一級建築士事務所 *seki.design* 設立。2012年、一級建築士事務所 株式会社 *seki.design* に組織変更。神戸市都市デザイン賞すまうら文庫、COOL JAPAN 施工例写真 with 言葉の力 コンテスト「金賞/山本通の家銀賞/それぞれの庭の家」、Asia Pacific Property Awards、グッドデザイン賞/クレバスハウス他数々の賞を受賞。メディアにて多数取り上げられる

